

平成 27 年度 第 1 回（相談支援）分科会報告書

1. 開催日時：平成 27 年 6 月 26 日（金）13：30～16：30

2. 開催場所：八女市役所 201 会議室

3. 参加者（所属のみ）

陽だまりの里、相談支援センターほっぷ、蓮の実団地よろず屋、ゆうゆう、相談事業所のぞみ、蓮の実園ゆるっと、ホームヘルプ金太郎、相談事業所ねんりん、サングリーン相談支援センター、広川町、八女市、リーベル

4. 実施内容

○平成 27 年度分科会事業計画内容説明

○講演：『相談支援専門員としての視点、取り組む姿勢について』

講師：基幹相談支援センターリーベル 田島ゆかり

◆分科会について

分科会では自分が困っていることを明らかにしてほしい。分科会は困ったことを共有できる場。わからないときは聞く。

◆計画作成に必要な視点、大切なこと

・インテークの重要性：その人の生活の場を把握する。実際に暮らしている場を訪問し、生活の場を見る。本人と向かいあって話す時間を持つ。

・本人の状況把握：何ができて、どのような支援が必要なのか。しっかり聞き取りをする。

・地域生活のトータルプラン：その人らしい生活をしていく為の希望。誰の為の計画か。

・生活の質の向上：その人が今、置かれているところから生活を見直していく。

・中立/公平：その人に一番適した事業所の情報提供を。

・エンパワメントとアドボカシー：本人が持てる力を引き出していく

⇒ヘルパーありきではない。

◆モニタリング

目的通りに利用できているか。今入ってもらっているサービスが適切に動いているか。

○事例検討会

事例提供：相談支援事業所のぞみ 樋口よし子 氏

事例展開：サポートセンター陽だまりの里 大塚博嗣 氏

事例：60 歳、男性、躁うつ病。就労継続支援 B 型事業所利用中の方の事例。

この方は、どういう楽しみを持っているのだろうか、どういう生活をしていきたいと思っているのだろうか、家族、兄弟はどう思っているのだろうか等、参加者より質問があり、この男性がどういう方なのかを掘り下げていく。